

H2Expo 2004 視察

神鋼リサーチ(株) 大西良彦



H2Expo2004 会場(Hamburg Messe)



h-tec 社のエネルギー教育用キット

2004年9月15日から17日まで、水素エネルギー関連の国際展示会”H2Expo 2004”がドイツのハンブルグの Hamburg Messe で開催された。H2Expo は、水素の製造・貯蔵・運搬・燃料電池・水素エンジンなど、水素エネルギー全般に関する展示会であり、2001年から毎年開催され、今回が4回目である。同時開催で、航空・船舶関連の水素利用に関するシンポジウムやワークショップ、消防関連のセミナーも行われた。今回、燃料電池や水素インフラ関連の動向調査を目的として H2Expo 2004 に参加した。

展示会には、ドイツ、カナダ等から45社が出展していた。日本からは日本製鋼が出展しており、水素製造システム、配管部材やセンサーシステムなど、水素インフラ関連の展示が主であった。Linde AG は、水素エンジンを搭載したフォークリフトの実物を展示し、来場者の注目を集めていた。また、h-tec は太陽電池、メンブレンリアクターによる水の電気分解と燃料電池を用いた一連のエネルギー変換教育用キットを展示していた。

ハンブルグ市は、CUTE(Clean Urban Transport for Europe)という、燃料電池による公共交通のテストプロジェクトを行っている都市の1つであり、市内に7台の燃料電池バスが運行されている。会場から、燃料電池バスの基地を見学するツアーにも参加した。ドイツでは、郊外に行くのと至る所で風力発電のプロペラを見かけるが、この基地の水素はすべて風力発電による電力で賄われているとの説明があった。



市内を走る燃料電池バスと水素ステーション

主催者発表によると、今回の参加者は、2,000人であるが、学校の授業の一環の見学コースにもなっており、高校生や大学生の姿が目立った。次回の H2Expo 2005 も、2005年8月31日から9月1日まで同じ会場で開催される予定である。

H2Expo の URL : <http://www.h2expo.de/>